

だい・でん♥ささえ愛



「認知症の方を地域で温かく支えるために」

知っていますか？「認知症」のこと

身近な病気にもかかわらず、知っているようで知らない「認知症」。これは色々な原因で脳の細胞が死んでしまい、働きが悪くなるために様々な障害がおこり、記憶や計算、判断などの力が低下し生活に支障を起こす状態を言います。さらに人によっては心の状態や性格、環境などにより、うつ状態、徘徊、妄想などの行動、心理症状が現れる方もいます。また認知症を放っておくと症状が悪化しますが、中にはほかの病気が原因であることも考えられます。早期に発見し、適切な治療や対応をすることで症状を軽くしたり進行を遅らせたりすることが出来ます。

地域包括支援センターにご相談ください

少しでも早い対応を行い、認知症患者やその家族の力となり状況を改善・前進するためにまずは、地域包括支援センターにご相談ください。「認知症初期集中支援チーム」を編成し対応を行います。

◎「認知症初期集中支援チーム」をつくり支援します

「認知症初期集中支援チーム」とは地域包括支援センターが窓口となり、地域包括支援センターの職員、肝属郡医師会立病院の認知症専門家でチームを作り、「認知症で悩んでいるが、どのようにしてあげればいいのか分からない」「認知症治療に一步踏み出せない」というような方のサポートを行います。

【対応の流れ】 認知症が疑われる方または、そのご家族や地域の方からの相談を地域包括支援センターで受ける。

- 現在どのような状況なのか聞き取りを行う。
- 認知症初期集中支援チームで今後の治療などの支援計画を話し合う。
- ご本人や家族の方と話し合いながら、治療を進めていく。

※それぞれの方にあった支援計画をつくり、専門的な観点から素早いサポートを行っていきます。

【サポートの対象者】 40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人または認知症の人で下記の方々です。

- (ア) 認知症疾患の臨床診断を受けていない方
- (イ) 継続的な医療サービスを受けていない方
- (ウ) 適切な介護保険サービスに結び付いていない方
- (エ) 診断されたが介護サービスが中断している方

※認知症に関する相談は、個人情報保護法に基づき厳重な管理を行いますので、安心してご相談ください。

※電話のみでなく自宅訪問もいたします。相談、訪問とともに無料ですのでお気軽にご相談ください。

【相談窓口】 錦江町包括支援センター TEL 22-3030 (担当：永濱・麦生田)

肝属郡医師会立病院地域医療室 認知症初期集中支援チーム TEL 22-3111

「まつさきサロン」(木原自治会)



今月は、今年4月に結成しました、「まつさきサロン」(木原自治会)を紹介します。

まつさきサロンは会員25名で開始し、月2回活動しています。主に脳トレ活動や歌を歌うなど参加者が元気になるような活動をしています。

6月から会員の提案で千羽鶴を折り、8月に広島の社会福祉協議会を通じて、広島の前原追悼式にささげました。

(代表 栗脇 通徳さん)